



ロータリーをもっと学ぼう明日のために

本日のプログラム

「函館市と周辺地域の救急医療について」

公益社団法人 函館市医師会 会長 本間 哲氏

次週のプログラム 2月27日(金)

「移動例会」

「函館大学RACとの交流夜間例会」 於はこだてビール

2014~2015年度 会長 五十嵐 稔

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長/五十嵐稔 ●副会長/森元浩 ●会長エレクト/宮崎あけみ
- 幹事/國谷大輔 ●副幹事/佐藤美子
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

第2789回例会 2015年2月10日(火)天候 雪

月間テーマ 世界理解月間

■ロータリーソング 我等の生業

■司会 五十嵐 稔 会長

■ゲスト (株)中合 棒二森屋店 取締役店長
岩岡 正剛 氏

■ビジター

函館RC 松田 俊司会長、佐藤 公郎氏、
原 一彰氏、坂本 修康氏

函館五稜郭RC 光銭 裕二氏、岡田 恒男氏

■会長報告

- 1、8日友好クラブの長崎東RC創立45周年式典が開催され、当クラブよりご夫人含めて17名で出席してまいりました。
- 2、3日クラブアッセンブリーを開催いたしました。
- 3、理事会報告

■委員会報告

- 1、ローターアクト委員会：27日函館大学ローターアクトクラブとの交流夜間例会を開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

■幹事報告

- 1、24日当クラブ例会は27日の函大RACとの交流夜間例会へ変更いたします。
- 2、青森東RCより会報が届いておりますので回覧願います。
- 3、25日函館北RC、26日函館RC例会はそれぞれ夜間例会へ変更しております。

「函館における棒二森屋について」

(株)中合 棒二森屋店 取締役店長

岩岡 正剛 氏

1. 棒二森屋の歴史

棒二森屋は、昭和初期、函館で当時古いのれんを誇っていた棒二荻野呉服店と金森森屋洋物店が1936年昭和11年に合併設立



された百貨店である。

●金森森屋洋物店1869年明治2年創業、創業者初代 渡辺熊四郎

1840年豊後国(現・大分県)で薬種商を営んでいた山下家の長男として生まれた。幼名 熊蔵。16歳の時、薬種の仲買をし、大分、長崎を往復して外国貿易に従事、さらに同地長崎の薬種商、渡辺重吉の店員となり、次いでその養子となり渡辺熊四郎と改名した。

北海道の海産物売りさばきを依頼されたのが縁となり、箱館奉行所御用達の奨めで幕末の文久3年(1963年)、義弟の山下音吉(のちの2代目熊四郎)とともに箱館に渡り海産商をして巨利を得た。

五稜郭戦争が終わって間もない明治2年6月、はじめて函館市大町に舶来品専門の洋物店を開き、屋号を森屋と云い、商号を森とした。その後、初代熊四郎は明治中期にかけて函館経済界の重鎮として活躍し、産業振興、更に福祉事業や都市造りに私財を寄贈し、同時期に活躍した今井市右衛門、平田文右衛門、平塚時蔵の3名とともにのちに「函館四天王」と呼び称されるようになった。

昭和4年、3代目熊四郎が末広町に金森デパートとして鉄筋7階、建坪2,000坪のビルを建てたが、当時のお金で60万円を要した大規模なもので200人の店員を雇い、1日の売上金は2万円と称された。特筆されることは、客送迎用25人乗りの赤塗りのフォードの配達用自動車を用意したことであった。

●棒二荻野呉服店1889年明治22年創業、創業者荻野清六

滋賀(近江)で呉服商を営んでいた荻野家6代目儀平が、明治15年に渡道し、上磯戸切地で棒二荻野商店を開業し、呉服を商う。

北海道の開拓が進むにしたがい、函館の発展の

◀ OPEN当時
昭和12年11月開店当時の写真

商標となりました。

棒二森屋創立にあたり、**森**森屋（カネモリモリヤ）の森屋と棒二荻野の棒二をとり、新社名が株式会社棒二森屋として、商標にポーニを使用することを定め現在に至っています。

▲ 現在の棒二森屋店



～長崎東RC創立45周年記念式典
懇親会及び友好クラブ調印式～